

今年度の予定について

ここ数年は、隔月の名古屋での遺族会に加えて、岡崎市での遺族会のみ行ってきています。今年度の予定は、まだ正式には何も決まっていますが、もし「こんなことをしてほしい」ということがありましたら、ぜひお知らせください。

これまで行ったこととしては、講演会、セミナー、シンポジウム、冊子づくり、遠足（参加者の方でどこかに行くイベント）などがあります。

相談先のご案内

行政、民間による自死遺族向けの相談窓口がいくつかあります。今回は、愛知県、名古屋市を中心とした情報をまとめました。

各都道府県、政令指定都市には、必ず「精神保健福祉センター」が設置されており、遺族サポートを行っています。何かご不安なことがあれば、まずは「精神保健福祉センター」にご相談ください。

自死遺族向け面接相談(無料)

○愛知県精神保健福祉センター

要予約 052-962-5377 毎月第3木曜日 午後2時-3時30分

○名古屋市精神保健福祉センターこころば

要予約 052-483-2095 毎月第3火曜日 午前10時-12時

あいちこころのほっとライン365

(こころの健康一般に関する相談)

○愛知県 電話番号: 052-951-2881 毎日 9:00-20:30

あいちこころのサポート相談

(こころの健康一般に関する相談)

○愛知県

LINE ID: @aichi_soudan Twitter ID: aichi_soudan Facebook: aichi.soudan

月～土: 20:00-24:00 日: 20:00-翌8:00 ※受付は各30分前に終了

LINE通話相談

○NPO法人グリーンプラザともに

LINE ID: @700tgyoc

毎月第2,第4火曜日 21:30-翌1:00

傾聴電話

○NPO法人グリーンケアサポートプラザ

電話番号: 03-3796-5453

火、木、土 12:00-16:00

法的なことでの相談

○全国自死遺族法律相談ホットライン

電話番号: 050-5526-1044

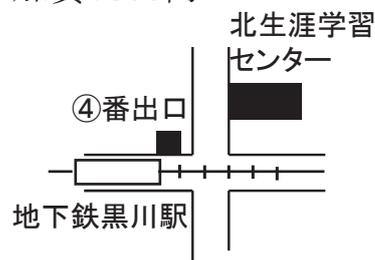
受付時間: 毎週水曜日 (祝日を除く) 12時-15時

自死遺族支援弁護団 <http://www.jishiizoku-law.org/>

次回の遺族会

第128回

6月29日(日) 13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ
参加費:500円



その次は...

第129回

2025年8月17日(日)

名古屋北生涯学習センター

日程は、ホームページ、X(Twitter)、または、電話案内でご確認いただけます。

●ホームページ

<https://remember-nagoya.org/>

●X(Twitter) アカウント

@remember_nagoya

●電話案内(録音でのご案内)

090-8544-9408

新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み(前期)…1000円

7月～12月末までのお申し込み(後期)…500円

詳しくはスタッフまで

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。会の終了後、お声掛けください。

近隣の遺族会のご案内

以下中止・延期の場合もありますので、直前にご確認の上、お出かけください。

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、遺族会「ディアレスト (Dearest)」が開催されています。今回はオンライン(Zoom)開催となります。下記連絡先までお申し込みください。

日時：2025年7月27日(日) 14:00 - 15:30

対象：家族以外の人(恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など)を自死(自殺)で亡くされた方

連絡先：the.dearest1@gmail.com

http://dearest.heya.jp

「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

「自死遺族ミーティング」(ミーティング、個別相談)が以下の日程で行われます。

日時：2025年7月5日(土)

①13:30-14:45 ②15:15-16:30

定員：ミーティング 各時間帯につき10名

個別相談 各時間帯につき1組

※事前申し込みが必要です。

場所：名古屋市市政資料館 名城線「名古屋城」駅

連絡先：cocoroibasyo@yahoo.co.jp

ホームページ：http://cocoroibasyo.org/

次回「いっぷく処」のご案内

「いのちに向き合う宗教者の会」による、「いっぷく処」(分かち合いの会)が、下記のように行われます。

日時：2025年10月2日(木) 14:30-17:00(開場14:00)

場所：真宗大谷派 名古屋別院(東別院)

本堂下広間

対象：自死遺族当事者 ※事前申し込み不要

連絡先：info@inochi.in http://inochi.in/

真宗大谷派名古屋教区教化センター

その他、近隣の自死遺族のわかち合いの会

岐阜「千の風の会」・・・

岐阜県精神保健福祉センター 058-231-9774

三重「わかちあいの会」・・・

三重県こころの健康センター 059-253-7821

浜松「浜松わかちあいの会」・・・

浜松市精神保健福祉センター 053-457-2709

その他、全国に自死遺族の分かち合いの会があります。詳しくはスタッフの者にお聞きください。

りめんばー

先日ある会合で何人かで話している時、「生きづらさ」が話題となりました。

「最近、生きづらいという言葉をよく聞くが、昔は生きやすかったのか」というところから、話は始まりました—ご想像の通り自死に関係するメンバーではありませんが。

自分自身、重苦しさを感しながら、生きています。この先の時代に、なかなか希望は持てないところではあります。今の時代の「生きづらさ」とは、どんなことなのでしょう。

少なくとも下支えとしての、社会の仕組み、福祉のしくみを100年、200年の単位で考えたとき、行きつ戻りつではあっても、それは大筋としてよくなってきているのではないかと感じています。昨今話題にされる「生きづらさ」とは、社会制度の不十分さから来るものというよりは、人間の集団のふるまいであったり、社会の中での自分の存在であったり、もっと根源的なものへ向かっている気がしています。もし、そうだとすると、これからの時代に抱える「生きづらさ」は、ほんとうに厳しいものになってしまうかもしれません。ネット社会は、加速度的にそんな時代を推し進めている気がしてなりません。

ここ最近、また世界中で戦争が増えています。戦争だけは、何千年経っても、そしてこれから先も変わらず行われていくのでしょ。戦争に限らず、愚行に満ちた人間の社会に、希望を見出せなくなってしまいそうです。「生きづらさ」に加え、この社会に「生きる値打ち」を感じられなくなったら……。

こんなことを考えていると、身近で自死した者は、どんな思いだったのだろう……。最後にはいつもそこに思いが向かうのです。(KN)